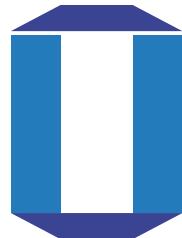


岡山大学広報

いちょう並木

OKAYAMA UNIVERSITY MAGAZINE



OKAYAMA
UNIVERSITY

新入生の
夢

Vol. 103

2023

CONTENTS

新企画！街中University！
広い世界で活躍する岡山大学の学生たち
新執行部紹介・新任教員紹介 OU NAVI



新入生の夢

Dreams of Freshmen

この春、岡山大学は2,296人の学部新入生を迎えました。

今回は希望に満ちた9人の「夢」にフォーカス！

リアルな岡大ライフと共に、夢を応援する岡山大学のサポートもご紹介します！



「人を診る」医師になりたい

高校生の時に体調を崩してかかりつけ医を受診しました。病因が分からず不安な中、そのお医者さんは私の話を親身に聞いて、専門の病院を紹介してくださいました。そこで、専門の病院を紹介してくださり、無事回復することができました。その後、「病気を診る」だけでなく、患者さんに寄り添つて「人を診ること」ができる医師になりたい。そして私と同じような境遇の人を救いたいと思うようになりました。私は医学部医学科の地域枠コースで入学しましたが、中国地方には山間部など専門的な医療を提供できる医師になりたいと思っています。

学びたい！が手に入る

岡山大学を選んだのは1年生から「早期地域医療体験実習」に参加できるから。自分自身の夢を叶えるために、地域医療のリアルを知ったうえで6年間学ぶことができる環境が魅力的でした。入学してみると、1年生から最前線の手術現場を見学できたり、興味のある他学部の講義を受けることができたり…自分が学びたいと思ったら、その思いに応えてくれる環境が手に入るのはやはり岡山大学病院がそばにある強みだと実感しています。

入学前は大学の講義ってどんなのだろう？と思っていましたが、実際の講義では高校の範囲から始まり、先生方が研究している専門領域のお話も聞くことができて、とてもためになっています！

医学部医学科
阿尾 華那
AO Hana
出身校：広島大学附属福山高等学校

詳しくはこちら！▼

夢サポート



学術研究院医歯薬学域
地域医療人材育成講座
小川 弘子 特任教授

医学部医学科では「門出の春に心を耕す」をモットーに、実際の地域医療の現場に出る「早期地域医療体験実習」を1年生夏に実施し、「人が生きること」について深く考える機会としています。この学びが6年間の能動的な学習姿勢、皆さんの成長につながっていくと思います。



小学校からの好奇心が志望理由

小学生の頃、宇宙についての図鑑を読んで「宇宙って面白い!」と思い、それからも発見されていないことを知りたいという好奇心が強くありました。高校生の時に将来を考え、進学する学部を悩みました。でも、やはりその好奇心を大事にしたい、そして面白いと感じている物理学を大学に入つてもっと深く学びたいと考え、理学部物理学科を志望しました。興味のあつた物理学ですが、同じ物理でも大学と高校では考え方が違うことに驚きました。高校は公式を活用して数字を当てはめて答えを導く。でも大学は「なぜ」このようなのか?」をとことん考える。難しいですが、それこそが物理学の楽しさであり、そ

れを繰り返すことで新しい発見が生まれてくるのだと思います。

大学に入つて世界が広がった

岡山大学に入つての率直な感想は、本当にたくさんの人人がいるんだなと(笑)。私は高校生の時まであまり県外に行く機会がなかつたので、今まで関わつてこなかつた人との関わりが増え、一気に世界が広がりました。

宇宙は未知の宝庫

宇宙の起源、ブラックホール、他の星への移住:未知の宝庫・宇宙は広いだけに興味のある領域がたくさんあります!未知のことを探りたいという小学生の頃から的好奇心を胸に、研究室では宇宙についての研究をして、将来は宇宙開発に携わることが夢です。

理学部
常川 陽功
TSUNEKAWA Akinari
出身校:高知県立高知小津高等学校



キャリア・学生支援室
坂入 信也 教授

キャリア・学生相談室では、アドバイザーによる個別相談を受け付けており、夢を叶えるための進路選択をサポートしています。宇宙関連の仕事は、宇宙の広がりと同様に、関わる仕事の選択肢も多様です。自分の専門性を深く探求する中で、夢を叶えるための具体的な目標と一緒に形にしていきましょう。



学びたいことがたくさん!
学部をまたいで学べるGDPは魅力的

幼い頃にアニメで見た日本語に惹かれ、書きやきれいな言葉を遊びたくて日本への留学を熱望しました。日本の前にシンガポールへも留学しましたが、やっぱり日本への憧れを諦めきれず、中学1年生で朝日塾中等教育学校へ留学しました。高校の先生の勧めでGDPを知り、学部をまたいで興味があることを学ぶるシステムに惹かれて岡山大学を志望しました。

キャリア形成を意識して、
充実した大学生活を送りたい

友だちは将来のキャリア形成について意識が高い人が多く、長期の休みをどう

使うか計画しています。私はすでに留学を経験しているので、留学ではなく、東南アジアで短期のボランティアなどに参加したいです。地域興しや語学教育などいろいろやってみたいです。でもその前に、コロナ禍で帰国できなかつたので、まず帰国して家族に会いたいです!

いつかタイと日本をつなぐ架け橋に

タイと日本の関係に貢献できる架け橋になりたいです。国と国、人と人をつなぐ「留学コーディネーター」となるのが今の目標。将来に備えて学びたいことがたくさんあります。まだ決められません。経済、国際法、心理学...。GDPだからできる学び方で夢を叶えたいです!

グローバル・ディスカバリー・プログラム(GDP)
サンセムサップ アンポン
SAENGSOEMSAP Amporn
出身校:朝日塾中等教育学校(岡山)
(出身:タイ王国)

柔軟なカリキュラムだからこそ、履修登録や他学部の学生と馴染めるか不安になるものですね。でもご安心を! GDPでは担当教員、アカデミック・アドバイザー等の充実したサポート体制を用意しています。些細なことでも気軽に相談してくださいね!

詳しくはこちら▼



学務部グローバル・ディスカバリー・プログラム事務室
云 洪凌主任

自分の夢につながる研究ができる

幼い頃、家族が交通事故に遭った経験から「交通事故をなくしたい」と思うようになりました。工学部機械システム系では、自動車予防安全技術に関する研究や安全・ヒューマンエラーに関する研究も行われていて、ここで学べば自分の夢を叶えられると思い、岡山大学を志望しました。

また、多様な入試方法があり、推薦入試の面接で直接自分の思いを伝えることができたのも自分には合っていたんだと思います。

**勉強もサッカーも目標は高く
本気でやりたい！**

岡山大学は産官学が連携する共同研究も多いので、ゆくゆくは企業と共同研究で人間の不注意や集中力が途切れた時に反応するセンサーを作りたいです。夢を叶えるために活用できる技術があれば、積極的に学びたい。ここで学ぶことを家族も喜んで応援してくれているので、とても励みになっています。

ます。「研究室見学」では、様々な研究室を見ることができ、知らないかった世界が広がって、進路を考える上でとても参考になります。また、現在サッカー部に所属し、週5日2時間練習しています。レベルが高く、切磋琢磨しながら中国大学リーグ1部昇格、個人的にはスタンメンに選ばれることを目標に頑張っています。

完全自動運転化で交通事故をなくしたい

工学部
春名 育夢
HARUNA Ikumu
出身校：岡山県立岡山芳泉高等学校

藍夢サポート



学術研究院
環境生命自然科学学域
イジウン 助教

工学部機械システム系では、機械と人間の適切な付き合い方を図るために、「人間」にフォーカスして、人間だから起こすこと、考えることを反映するヒューマン・マシン・システムの研究を行っています。人間中心デザインの実現により、完全自動運転による交通事故ゼロの未来と一緒に描けると思います。



詳しくはこちら!

夢中になっていること



阿尾 華那

三俣診療班は北アルプスの大自然の中で、自分の夢につながる医療ボランティア。登山で体を鍛えています！

日本語の文法が好きで、附属図書館で気に入った本を読んでいます。

言語にも興味があり、28か国語で書かれた星の王子さまにも挑戦中！



アロシュ ハラ アブドラ



「基礎生物学」です。高校の時に生物学を履修していない人向けのカリキュラム。大学で新たに生物学を学ぶことで夢の実現を目指します！

大機 快聖

おすすめの講義

「キャリア形成基礎講座」です。1年生から大学の学びと将来のキャリアを同時に考えることで、今、自分が何をするべきか考えられるのが魅力です！

錦織 歩

やったことのない楽器にも果敢に挑戦する先輩たちの姿に憧れ、交響楽団に入団して未体験のヴィオラに挑戦中です！



藤田 実紗

IBのスキルを生かしたい!

私は国際バカロレア（以下IB）認定高校出身で、高校の時から課題解決のため話し合う授業や書籍を読んで自分で研究をするカリキュラムでした。大学選びの基準は、IB校で身につけた技能を評価してくれるか。調べるうちに岡山大学にはIBのスキルが生かせる環境があることが分かりました。IB入試で入学した学生に身につけて欲しい能力が明確で、それがカリキュラムにも反映されています。

他大学の1年生は必修の講義ばかりと聞きますが、岡山大学は自分の受けたい講義も受講できたり、研究室で実験を体験できたりと、希望すれば自分の中でじっくりと「どんどん挑戦できる大学です。

中学生の時の思わぬ気づき

中学生の時、祖父が入院し、歯科医である父が毎日歯磨きに行っていました。ある時、歯磨きができなかつた期間があつたんですが、祖父の体調が悪化してしまって…歯の大切さを実感しました。その時から、歯学に興味を持ち始め、高校では歯周病に関する研究を行いました。

広い視野を持つた歯科医師に

歯学部にはODAPUSという、海外の大学で歯学を学ぶことのできる短期留学制度があり、ぜひ参加してみたいと考えています。国際的というのは英語だけじゃない。IB校と岡山大学で培ったスキルを生かして、広い視野を持つて患者さんと接することでのける歯科医師になるのが私の夢です。

歯学部
椎木 一那

SHIIGI Kazuna
出身校:AICJ高等学校(広島)

IB
サポー
ト



IB入試推進室 室長
サビナ マハムド
准教授

岡山大学は、2012年度に全国の国立大学に先駆けてIB入試を導入し、11年の歴史があります。入学後には、定期的に面談やアンケート調査を行い、IB生の満足度や不安、悩みなどを知り、在学生とともに個人に応じたアドバイスやサポートを行っています。



自分のような人を救いたい

高校生の時に健康診断で再検査になって、それがきっかけで早期に病気を見つけることができました。その時、医療検査の重要性を感じました。早く見つければ、救える命がある。その後から「臨床検査技師」という職業を意識するようになりました。

多様なコース 選べる未来

岡山大学を選んだ理由は、臨床検査技師を目指せる国公立大学では珍しく「解剖実習」ができるから。人体の構造を本質的に理解するには不可欠だと考えました。さらに希望すれば、学部では胚芽養士を目指せる「生殖補助医療技術キャリア育成特別コース」、大学院では「超音波検査

土育成コース」をはじめ様々なコースを選択できます。自分の可能性を広げるにはぴったりの環境だと思い志望しました。

夢に向け資格を取りたい

私は医学検査を行う「臨床検査技師」の資格のほかに、体外受精を担う「胚芽養士」の資格、さらに大学院では超音波を用いて医療検査を行う「超音波検査士」の資格を取得したいと考えています。高校生の時、自分が興味を持った臨床検査技師を広く調べてみたところ、関連する資格を取得することが自分のキャリアアップにもつながると考えました。胚芽養士の資格取得には農学部の授業を受ける必要があるため、鹿児島と津島を行き来することになりますが、自分の夢に向かって頑張りたいと思います！

医学部保健学科
錦織 歩

NISHIKORI Ayumi
出身校:岡山県立岡山操山高等学校

IB
サポー
ト



学術研究院保健学域
中塚 幹也 教授

「生殖補助医療技術キャリア育成特別コース」では、近年増加している不妊カップルの体外受精の際に、精子・卵子・受精卵を取り扱う胚芽養士（エンブリオロジスト）を育成しています。医学部保健学科と農学部が連携し、専門性を生かした教育で最新の医学知識と高度なスキル、適切な倫理観を身に付けられます。

詳しくはこちら!



学びのきっかけは 「日本語でこの本を読みたい」

高校生の時、アラビア語で翻訳された村上春樹さんの「1Q84」を読んで「この本を日本語で読んでみたい」と思い、日本語の世界に興味を持ちました。日本語の魅力は、音の響き、発音、漢字・ひらがな・カタカナの組み合わせの面白さです。英語やアラビア語とは違う、独特的な文法にも惹かれました。岡山大学のホームページで言語学・現代日本語学分野の紹介を見て、ぜひここで日本語を学びたいと思いました。

勉強に集中できる環境と サポート体制が充実した学生生活

岡山はとても自然豊かで静かなので、勉強には最適な環境です。大学には、留学生はとても自然豊かで静かなので、

豊かな文化と文学、深い歴史を表現する日本語の魅力

私の母国には、日本語の学習教材が少なく、日本語ニアーメの言葉という認識を持つ人も多いのが現状です。日本の豊かな文化と文学、深い歴史などを表現する美しい言語であることを伝え、みんなが学びやすい日本語教材を作るのが夢です。そのためにも、図書館で日本語の本をたくさん読みたいです。

学生をサポートしてくれる留学生相談室や、学生同士が自由に交流できる「café」があり、とても心強いです。今は、日本語会話パートナーと仲良くなつて楽しい時間を過ごしています。また、人の役に立てる事をしたいと思い、ボランティアサークルで地域のお年寄りの方と植物を植えたりしています。

文学部 アロシュ ハラ アブドラ

Aloush Hala Abdullah
出身校:ナデルード高等学校
(ノルウェー)



附属図書館情報管理課
植山 廣紀 図書職員

中央図書館では、本館1階に語学学習コーナーを設置しています。日本人学生のための語学参考書だけでなく、留学生のための日本語テキストや日本文化を紹介する資料等を取り揃えています。ハラさんが大学での学習をすすめるうえで、附属図書館の資料と空間とを最大限に活用していただけると嬉しいです！



高校生の時には自分がやりたいことが決まっていなくて…先生に相談したところ、身の回りで興味のあるものを考えてみてはと提案されました。ちょうど花粉症が辛い時期で、点鼻薬を使うと鼻水が止まる…よく考えたらスゴい！と思いました。薬に対する興味が湧き、授業でマラリアについて調べたところ、当時はワクチンが開発されておらず、救える命が落とされていることを知りました。薬学を学んで世界に届けたいという夢が見えてきました。

「ここ」で学んでみたい！」が大事

薬学を学ぶことと世界で活躍できること。これを両立できるのはどこなんだろう

在学中に留学してみたいと考えています。岡山大学にはインド感染症共同研究センターがあり、インドにおける下痢症の研究も行われています。そういう薬が必要とされている地域から、創薬が行われている欧州まで、自分の興味があることを実際に見て視野を広げたい。まだ一步を踏み出したばかりですが、ワクワクしています！

世界のリアルを見てみたい！

うと調べ始めました。ある時、岡山大学の造生物薬学研究室の研究を見つけました。薬の標的となる受容体を構成するたんぱく質について研究する。「ここ」で学んでみたい！と思いました。さらに、岡山大学は留学の支援制度も充実していく、夢を形にする環境が整っていると考えました。



学術研究院医歯薬学域
久保田 高明 教授

薬学部では、韓国での「先端医療応用コース」、フィリピンでの「国際医療薬学教育研究推進プログラム」、ベトナムでの「多分野医療系学生人材育成プログラム」といった国際的な創薬人材育成するプログラムを導入しています。学部から大学院レベルまでの幅広いプログラムで、世界で活躍したいという夢をサポートします！



薬学部 大機 快聖

OHKI Kaisei
出身校:京都府立西舞鶴高等学校



小学校専攻があつて教職支援も充実

小学校教員が私の夢です。小学生の時、人知れず頑張っている姿を先生が見守つて応援してくれた経験があり、教員に憧れを抱きました。教員を目指す中で、岡山大学は「小学校専攻がある総合大学」という点が魅力でした。教養科目では他学部の学生と話し合う機会があり、異なった視点を得られるのは総合大学ならではだと思います。教職支援体制が充実していること、海外にも目を向けた幅広い経験ができることも岡山大学を選んだ理由です。

学生に寄り添つた授業、忘れられない言葉

大学の授業では、教員と学生の距離感

教育学部
藤田 実紗

FUJITA Misa
出身校:神戸海星女子学院
高等学校(兵庫)



人の役に立てるることはとても幸せなことです。ただそれには「力」が必要です。大学は新しい「力」が集まる場所ですが、自分で考え動かなければ出会えません。思い切って知らないところに足を踏み入れ、時間を投入し、時に失敗することが「力」を高める方法です。あなたが手にした岡山大学にはそのチャンスが眠っています!



学術研究院教育学域
寺澤 孝文 教授

近く、寄り添つて指導してくださることに驚きました。学生の理解度を確認しながら進めてくださるので不安なく学べています。また、寺澤孝文教授（学術研究院教育学域）が授業の中で仰つた「恵まれているなら自分が、人のために人生を費やすべき」という言葉が忘れられず、様々な事情で今を楽しむことができない人にも目を向ける人になりました。

夢のために学生生活を丁寧に

将来、子どもたちに学校が楽しいこと、友だちの存在が支えになること、一緒に過ごす時間はかけがえのないものであること、先生はいつも手を広げてくれていることを伝えられる教員になれるよう、私自身毎日を丁寧に、心豊かな学生生活を送りたいです。

岡山大学の好きなところ 入学して驚いたこと

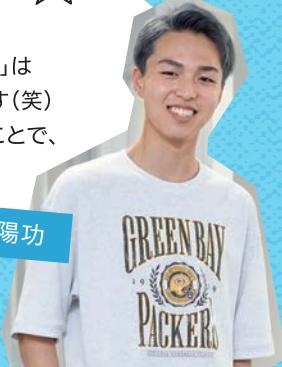
入学前は友達ができるか不安でしたが、入学後は様々な国の人ことができました。先生方はフレンドリー、事務の方はいつも親切・丁寧にサポートしてくれます！

サンセムサップアンポン



高知県出身ですが、最初は方言が通じず驚きました！例えば土佐弁の「そうながや」は標準語では「そなんだ」です（笑）色々な出身の人と交流することで、世界が広がりました！

常川 陽功



受験生ヘアドバイス

自分がやりたいことを早いうちから決めて、それが学べる研究室と、そこに入るための制度をきっちり調べることが大事です！

春名 育夢



岡山大学には自分のやりたいことができるフィールドがたくさんあります。高校の時に得たスキルが生かせるカリキュラムも充実していますよ！

椎木 一那





iversity!

多彩な気候・文化・産業を有し、
絶好の地域と言える岡山。
地域と共に歩んできた岡山大学。
岡山大学があるから学べる。
根差して行う取り組みをご紹介します。



低炭素・廃棄物循環
研究センター
松井康弘准教授



松井研究室
福森陸央さん
(環境理工学部4年)



松井研究室
古川温士さん
(環境理工学部4年)



環境部ECOLO
沼田有貴さん
(農学部3年)



DS(データサイエンス)部
伊藤一葉さん
(工学部4年)



地域の食品ロス課題をデータサイエンスで解決!

のこり福キャンペーン

約12・9万トン。岡山県で2019年度に発生した食品ロスの推定量だ。なかでも71・3%を占める事業系食品ロスは飲食店やスーパーから排出されており、事業者にとって大きな課題となっている。この課題を解決しようと、2022年10月に岡山大学の教員・学生が主体となり、岡山市内のデパート・スーパー等6店舗で「のこり福キャンペーン」を実施した。

2022年10月に岡山大学の教員・学生が主体となり、岡山市内のデパート・スーパー等6店舗で「のこり福

キャンペーン」を実施した。

19年度に発生した食品ロスの推定量だ。なかでも71・3%を占める事業系食品ロスは飲食店やスーパーから排出されており、事業者にとって大きな課題となっている。この課題を解決しようと、2022年10月に岡山大学の教員・学生が主体となり、岡山市内のデパート・スーパー等6店舗で「のこり福

キャンペーン」を実施した。

売り切りたい×安く買いたい
画期的なマッチング

スーパーで行われる食品ロス対策といえば割引だ。総菜類は夕方になると割り引かれるが、日によって売れ行きにバラツキがあり、売れ残ることもあるという。一方消費者は、スーパーに行つても売り切れてしまったり、まだ割引かれていないつたり…。岡山大学はそこに目をつけた。まず岡大生に聞き取り調査を実施したところ、「自宅や出先にいながら、売場の状況を確認したい!」というニーズが多いことが分かった。そこでDS部を中心となってアプリの開発に着手。開発期間が短いNoCode技術も用いて、スーパーの店頭に設置された定期カメラの中継画像を5分おきに確認できるアプリを開発し、社会人や学生に広く使ってもらう「のこり福キャンペーン」を実施した。これにより、消費者はスマホで売場の売れ残りや割引の状況を画像で確認することで効率よく買い物先

を選択でき、スーパーは売れ残り、つまり食品ロスを減らすことができるというWin-Winの関係を創り出した。

せずアプリ等を開発できる技術

を選び、スーパーは売れ残り、つまり食品ロスを減らすことができるというWin-Winの関係を創り出した。

社会実装できたからこそ、見えてきたこと

アプリは利用者が直感的に利用できるように機能を絞って単純化し、一部店舗ではアプリ利用者にポイント等の特典を付与した。「食品ロス削減に必要なのは、社会全体会が『自分ごと』として自覚し、官学民の全員参加で取り組むネットワークを形成すること」と語る松井准教授。アプリは1か月の期間中に、社会人や大学生を含む延べ約1000人が利用し、報道でも取り上げられるなど、大きな反響を呼んだ。キャンペーン後の調査では、前年比で2~5割の食品ロス削減効果が確認された。

「大学内で研究や開発をすることはあつたけれど、社会実装できることは大きかったです。実際に利用してもらえたからこそ、得られた意見や気づきがありました」と語る学生たち。現在はキャンペーン第2弾を計画中。情報入力の自動化や認知度アップのための工夫:

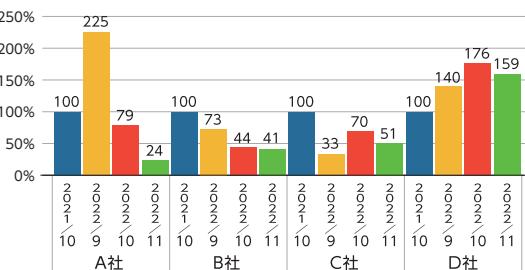


実際のアプリ画面



天満屋ハピーズ津島店
上西 重幸店長

食品ロスができるだけ出ないように努めていますが、曜日や天候によりバラツキが出てしまっていました。アプリを用いて課題を解決するというのは、やはり新しい視点を持った学生さんならではの発想だと思います。当店においてもキャンペーンの認知度アップに伴って、売れ残りが減ったことを実感しています。岡山大学も含め地域一体となって、SDGsに貢献する取り組みをこれからも推進できればと思っています!



【キャンペーンによる食品ロスの削減効果】

実施期間は2022年10月(赤)、2021年10月(青)と比較して、データが得られた4店舗のうち3店舗で削減効果が認められ、キャンペーン後の11月も効果が持続した。

大学が地域で学ぶ
地域が大学で学ぶ

街中 Un まちじゅう

「日本の縮図」と呼ばれるほど、
地域課題の解決を学ぶには
そんな岡山に根付く総合大学として、
岡山だからこそ学べる。そして、
SDGsを推進する岡山大学が、地域に



子どもたちの好奇心で、地域と大学を繋ぐ!

日ようび子ども大学



総合技術部の技術職員のみなさん

「日ようび子ども大学」が2022年6月11日(日)に開催された。このイベントは岡山県内の24大学が参加する大学コンソーシアム岡山が主催し、地域の子どもたちに学びの場を提供するもの。岡山大学総合技術部(旧・工学部創造工学センター)は、2013年からこのイベントに参加し、それぞれに思いを持って集まつた技術職員が主体的に取り組んでいる。今回は「ペットボトルでつくるキラキラ万華鏡」のブースを出展し、会場は家族連れで賑わった。

実験のために用意された道具や材料は、随所に工夫が隠されている。ペットボトルにまっすぐ線を引くための「木の土台」、溝に材料を差し込むだけで簡単にパーツを組み合わせられる「三角の土台」など、一見すると何気ない道具も、回を重ねる度に、子どもたちや保護者の反応を見過さなかつたらこそ生まれたもの。子どもたちの「上手くできない!」という気持ちを大切に、「じゃあ、どう工夫すれば上手くできる?」という視点を身に付けてもらいたい。科学的な見方を育む工夫を、道具として形にできるのが岡山大学ならではの強みであり、それを実際に手で触つてもらうことで、大学の技術を身近に感じてもらう機会となっている。

岡山大学ならではの 体験を通して身近な存在に

「0」の相手に伝える工夫。分かりやすい言葉や表現を心がけ、子どもたちに伝わるよう教えることは、技術職員にとっても大きな学びとなるという。子どもたち自身が、興味や発見にどうアプローチしていくか、上手くいかないことに對して、柔軟な想像力と好奇心を引き出せるような出前実験を提供したい」と話す。

「日ようび子ども大学」が2022年6月11日(日)に開催された。このイベントは岡山県内の24大学が参加する大学コンソーシアム岡山が主催し、地域の子どもたちに学びの場を提供するもの。岡山大学総合技術部(旧・工学部創造工学センター)は、2013年からこのイベントに参加し、それぞれに思いを持って集まつた技術職員が主体的に取り組んでいる。今回は「ペットボトルでつくるキラキラ万華鏡」のブースを出展し、会場は家族連れで賑わった。

毎年出展することで技術職員の意識にも変化が生まれた。それは「0」の相手に伝える工夫。分かりやすい言葉や表現を心がけ、子どもたちに伝わるよう教えることは、技術職員にとっても大きな学びとなるという。子どもたち自身が、興味や発見にどうアプローチしていくか、上手くいかないことに對して、柔軟な想像力と好奇心を引き出せるような出前実験を提供したい」と話す。



作品づくりに夢中になる真剣な眼差しや「できた!」と喜ぶキラキラとした表情は、今後もこの取り組みを継続する力になっている。

工作が大好きなので、楽しかったです! ペットボトルを切るのが難しかったけど、手伝ってもらいながら上手くできました。中に入れるビーズは小さいものを選んだりして、きれいに万華鏡が回るようにしました。これからも工夫しながら、ものづくりを楽しみたいです!



他にも続々! 総合技術部の取り組み

ちょっと発展! 「小学生のための工学実験教室」

今回紹介した「日ようび子ども大学」は小学校低学年向けの出前授業。総合技術部では2010年から高学年向けに工学部の施設で行う「小学生のための工学実験教室」を開催している。技術職員の指導のもと、実際の工作機械を使用してものづくりを体験。小学生にとっては大学の施設に立ち入ることのできる貴重な機会で、大学を身近に、そして科学を身近に感じてもらえる取り組みとなっている。

その他の総合技術部の取り組みについては、HPをチェック! ▶▶▶

取り組みは中学、高校、そして世界へ! 工学部「SDGs Seminar」

小学生で芽生えた科学への興味を育てる取り組みも。国内外の中高大学生が垣根なくSDGs達成に向けて学びあえる、工学部「SDGs Seminar」を2020年度から実施。日本・中国・マレーシア・シンガポールをオンラインで繋ぎ、それぞれが取り組むSDGsな活動を発信・共有している。科学への興味を原動力に、世界と開けたり合いながら学ぶ場を提供できるのも、岡山大学ならでは。



石川 日南子さん(小学3年)

陸上競技部

Track and field Club

「箱根」を目指した4年間は
決して回り道じやなかった。

本学歯学部3年生の石鍋颶一さんは現在24歳。以前は学生陸上界の名門・青山学院大学(以下、青学大)陸上競技部に所属し、名将・原晋監督率いる駅伝チームで「箱根駅伝」を目指していたという異色の経験の持ち主だ。高校時代は鎌倉学園(神奈川県)でエースとして活躍し、2018年に青学大に入学。

厳しい練習を積み重ね、3年時には箱根駅伝登録メンバー外による1万メートル学内記録会(通称「箱根駅伝0区」)で4位と健闘した。

そして迎えた最終学年。最初で最後の箱根駅伝出場を目標に練習を積んでいたが、夏合宿で右アキレス腱を負傷。懸命に復帰を目指したが時間的に箱根出場は厳しく、悩み抜いた末に選手を断念、マネージャーに転身した。「正直、箱根駅伝を走りたくて青学大に入ったので、その目標を達成できなかつたことは悔いが残ります」と唇を噛む石鍋さん。その年、チームは「箱根」を制覇したが、そこにはあったのは目指していた自分の姿ではなかった。

マネージャーとして選手を支える

立場になつて改めて自分のありたい

未来を考えるようになつた。高校生の頃、歯科医師である父の姿を見て、ぼんやりと歯科医師になることを考えていた石鍋さん。青学大で選手・マネージャーの両方を経験したこと

活躍する

道

学生たち



叶える舞台は岡山大学!
見ええた新たな夢
青学大駅伝チームで



陸上競技部の仲間と共に。石鍋さん(中央)は、2023年5月に行われた中四国インカレ男子10000mで第2位に輝いた。



石鍋 騶一
歯学部 3年

歯を傷めてしまうと、体のバランスが崩れ、パフォーマンスに影響があることがある。自分には歯科医師としてアスリートに向き合えるチャンスがあると気づいた。「スポーツのアドバイスもできる歯科医師になりたい」。はつきりと目標が見えた時、それを達成するためにこれから歩むべき道はどこにあるのか…。自分なりに模索した結果、今の自分と未来的自分をつけなげールの先に見えたのが岡山大学だつた。「国立大学の歯学部で編入学制度があり、国家試験の合格率が高い。自分の目標を叶えられる環境がここにはあると確信しました」と岡山大学を選んだ理由を語る。

実際に歯学部で学ぶようになつてからの感想を聞くと、「とにかく勉強量が多いし、内容が難しいです。ただ駅伝を通じて身につけたところを聞くと、「とにかく勉強量が多いし、内容が難しいです。ただ駅伝を通じて身につけたところを聞かないと、何が何だか分からなくなってしまう」と爽やかに笑う。歯科医師という新たな目標に向かつて石鍋さんの夢は走り出した。

現在は、本学の陸上競技部選手としてランナーを続けている石鍋さん。最後に選手としての目標を尋ねると「岡山大学の歴代記録を塗り替える!」と爽やかに笑う。歯科医師という新たな目標に向かつて石鍋さんの夢は走り出した。

T W K

The World Kitchen

GDPだからできる！
岡山から広がる「交流」の輪

2023年5月27日(土)・28日(日)

「The World Kitchen 2023 in Spring」(以下「TWK」)が石山公園

(岡山市北区石関町)で開催された。岡山大学グローバル・ディスカバリープログラム(以下GDP)の学生たちが中心となって企画・運営したフードイベントだ。

晴れの国・岡山にふさわしい青空の下、国際色豊かなテントやキッチンカーが軒を連ね、様々な

国から2日間で約1200人の来場者が訪れた。このイベントの実行委員長をつとめる岡田栄那さんがTWKへの思いを語った。

「元々まちづくりに興味があつて、岡山市が主催するワークショップに参加した際、まちづくりに関わっている社会人の方と出会いました。話していく中で、自分たち学生が中心となつて、岡山と世界をつなぎたい。大学を飛び出して、街でもインパクトを与えたいという思いが生まれてきました。そこで、以前は社会人の方が開催していた『The World Kitchen』を、自分たちGDP生が引き継ぎ昨年11月に第1回、そして今回第2回を開催することができました」

今回、出店数は前回の11店から20店に拡大し、第1回では呼べなかったヨーロッパやアメリカなどの料理も提供。加えて、パフォーマンステージやワークショップも設けた。その理由を広報担当の松島可歩さんは「ただ出店店铺

広い世界で

西



GDPの学生有志が
食を通じた多文化交流
イベントを開催！



岡田栄那
おか だいな

グローバル・ディスカバリープログラム
2年



松島可歩
まつしま かほ
2年

グローバル・ディスカバリープログラム
2年

を利用するだけでは、なかなか『交流』とまでは言えない。異なる文化のパフォーマンスを一緒に見たり、話しながらゲームに挑戦したりすることで、来場者が自分のコミュニケーション以外の方と交流できるように工夫しました」と話す。

今回のTWKにはGDPから13人が企画・運営に参加。出店先や協賛企業との交渉・企画から広報、当日の運営まですべて自分たちの手でやり遂げた。イベントの開催に必要となる資金は、クラウドファンディングや地元企業からの協賛で調達。たくさんの方から「頑張って！」と声をかけられ、岡山の温かさを実感するとともに、交流の輪が広がっていくことを実感できたという。「地域と学生、企業と学生、来場者と店舗、地域と世界…様々な人が食や文化を通して楽しく交流できる空間をつくる。これはパッショナのある学生が世界各国から集まるGDPだからこそできるやり方だと

思います」と語る岡田さん。

TWKの今後について、「今はまだ第一歩を踏み出したらばかり、これからは後輩たちに引き継いでもらつて、さらに輪を広げたい！」と話す二人。将来

について聞くと、岡田さんは生まれ故郷の愛媛県中島(瀬戸内海に浮かぶ忽那諸島にある一島)に戻つて、「島と世界をつなぐ」活動に取り組みたいと夢を語る。一方、松島さんはGDPで学んだ多様性を子どもたちに伝えられる英語教師の道を目指している。GDPだからできる！学生たちの弾けるような笑顔から、新たな交流の輪が広がる。

誇りと希望の学都へ

新執行部紹介

2023年4月に第15代学長に就任した那須保友新学長。

「岡大愛」を胸に岡山大学の明日を切り拓く

那須学長と5人の理事が、ありたい未来を語ります。



理事(医療担当)・岡山大学病院長

前田 嘉信 MAEDA Yoshinobu

Profile

岡山大学医学部附属病院第2内科医員、米国ミシガン大学がんセンターリサーチフェロー、岡山大学病院副病院長などを歴任。2021年から理事(医療担当)・病院長。兵庫県姫路市出身。



広大な緑あふれるキャンパス

岡山大学病院は革新的医療の開発を担う「臨床研究中核病院」と基礎研究の成果を医薬品・医療機器等に実用化する「橋渡し研究支援機関」に認定されており、日本屈指の研究拠点として、地域・世界に向けて医療・保健の新たな価値を創造していきます。こうした医療・研究にさらなる磨きをかけ、患者さんの安心確保につなげていきます。



学長

那須 保友 NASU Yasutomo

Profile

岡山大学病院新医療研究開発センター教授、副病院長、大学院医歯薬学総合研究科長などを歴任。2019年から理事(研究担当)・副学長を4年間務めた。愛媛県松山市出身。



岡大のすべてがラブの対象です!

歴史ある岡山大学の学長に就任し、責任の重さを実感しています。私が提唱するのは「不易流行の経営改革」。変えてはならないもの(不易)は本学に関わる全ての人々(マルチステークホルダ)の多様な幸せ(ウェルビーイング)の実現。変えなければならないもの(流行)は社会のニーズを捉え、大学の在り方を柔軟に変化させること。私自身も岡山大学の卒業生で、岡山大学で学ぶことができて本当に良かったと思っています。これからの4年間、「岡大愛」を抱く人を学内外で増やすことを目指します。



理事(財務・施設担当)・事務局長

袖山 祢之 SODEYAMA Yoshiyuki

Profile

文部科学省学術研究助成課長、医学教育課長、茨城大学理事、山梨大学理事などを歴任。2021年から岡山大学理事(財務・施設担当)・事務局長。茨城県筑西市出身。



津島北キャンパスのクスノキ群

岡山大学を持続的に発展させるには、財政基盤を強固にする必要があります。財源の多様化を図るためにも、地域や卒業生との結び付きを深め、Win-Winの関係を構築したいです。また、キャンパス全体を地域との共創拠点(イノベーションコモンズ)として捉えて整備し、新たな価値を創り出し、地域に還元していきます。



理事(企画・評価・総務担当)

三村 由香里 MIMURA Yukari

Profile

岡山大学医学部附属病院第3内科医員、教育学部長、大学院教育学研究科長などを歴任。2021年から副学長を2年務めた。岡山県岡山市出身。



活気あふれるキャンパス、頼もしい学生たち

担当分野は企画・評価・総務と幅広く、人事も含みます。本学の発展の推進力はやはり「人」。組織の在り方を見直し、教職員が持つ埋もれた知を掘り起こすことが重要です。そのために、学長直轄の部局横断型組織「ナレッジマネジメントオフィス」を設置し、旧来にとらわれないアジャイルな手法で業務の高度化・効率化を目指します。



理事(デジタルトランスフォーメーション・グリーントランストランスフォーメーション担当)・上席副学長

阿部 匡伸 ABE Masanobu

Profile

NTTサイバーソリューション研究所プロジェクトマネージャー、岡山大学工学部長などを歴任。2021年から理事(DX推進担当)・副学長を2年間務めた。群馬県渋川市出身。



緑豊かでゆとりのある美しいキャンパス

学内のDXを教育、研究のほか、事務でも進めます。部局間に横串を通して全学のデジタル化を推進し「全体最適」を目指します。また、今回から新たにGXも担当します。温室効果ガスの削減を目指した全学の活動を後押しするとともに、木造建築、木質材料の研究を「グリーンイノベーションセンター」を中心進めています。



理事(教学担当)・上席副学長

菅 誠治 SUGA Seiji

Profile

京都大学大学院工学研究科准教授、岡山大学工学部長などを歴任。2017年から理事(財務・施設担当)を2年間務めた。広島県広島市出身。



素直で実直な学生気質

加えて、行動力・実行力が身に付けば鬼に金棒です!

チャレンジ精神に富んだ、行動力・実行力のある学生を育てることが、教学担当として最も重要なと考えています。変化の大きな現代社会において、受験生や社会からのニーズを的確に把握し、高大連携・接続にも積極的に取り組みたいと思います。同時に、学生が「何ができるようになったか」を重視する教育体制を構築することも大事ですね。学生さん、教職員の皆様と一緒に、生き生きとした活力ある学びの場をつくりたいです。

2023
4/1着任

新任教員紹介 New faculty members!!

この春に着任された先生方を紹介します。



岡山大学研究者総覧

教員のプロフィールは
こちらからもご覧いただけます



宮戸 圭介

SHISHIDO Keisuke
■ 所属
学術研究院
ヘルスシステム
統合科学学域
教授

研究分野 医事法学／憲法学

憲法学をベースとして医事法学・生命倫理学の問題を取り組んでいます。研究科の掲げる「統合科学的アプローチ」が教育・研究の場で実現するように尽力いたします。



阿部 真理子

ABE Mariko
■ 所属
学術研究院
教育学域
教授

研究分野 言語習得／コーパス言語学

学習者が外国語を習得する過程を研究しています。現在、英語スピーキング力の継続的な発達研究を行っています。研究成果を教育現場に還元することが目標です。



中澤 篤志

NAKAZAWA Atsushi
■ 所属
学術研究院
ヘルスシステム
統合科学学域
教授

研究分野 画像認識／人間情報学

画像認識の研究、特に人に関する画像認識やAIの研究をしています。最近は医療や看護介護のコミュニケーションをAIで理解する研究を行っています。



田中 佑

TANAKA Yu
■ 所属
学術研究院
環境生命
自然科学学域
准教授

研究分野 作物生産生理学

フィールド環境で作物栽培試験を行い、シミュレーションモデル・AIなども用いながら、生産性向上に関わる形質の評価や解明を行っています。



王 睿霆

WANG Ruiting
■ 所属
学術研究院
社会文化科学学域
准教授

研究分野 応用計量経済学

中国政策の制度的・非制度的制約及び人口政策と社会・政治・経済政策の影響について、面白い実証経済研究を行っています。



久保園 愛

KUBOZONO Ai
■ 所属
学術研究院
社会文化科学学域
准教授

研究分野 日本語史／方言史

文献に基づく方言の歴史記述が主たる研究です。また現代方言の調査も一部行っています。今後岡山の方言も学ぼうと思っています。



石井 貴之

ISHII Takayuki
■ 所属
惑星物質研究所
准教授

研究分野 鉱物物理学／高圧結晶化学

地球やその他惑星に存在する鉱物・岩石の高温高圧下での化学・物理的性質を研究しています。人類が直接手に取ることができない地球・惑星内部を、鮮明に描くことが目標です。

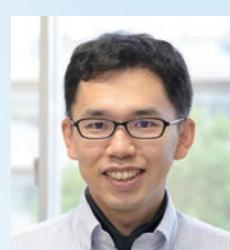


槙野 邦彦

MAKINO Kunihiko
■ 所属
教師教育開発センター
准教授

研究分野 教科教育／学校教育

県内の中学校で18年間、理科教員&吹奏楽部顧問を務めきました。自分が学んだ母校で、未来の学校教員養成という夢のある仕事に従事できることにワクワクしています。



茶谷 悠平

CHADANI Yuhei
■ 所属
学術研究院
環境生命
自然科学学域
准教授

研究分野 生化学／分子遺伝学

細胞内装置リポソームによるタンパク質合成の奥深さに魅せられて研究をしています。基礎原理の理解を通じて、社会に貢献できる技術の創出を目指していきます。



岡田 正和

OKADA Masakazu
■ 所属
学術研究院
教育学域
准教授

研究分野 教職員研修／生徒指導

16年間の教師生活では、子ども達の成長をそばで見て、感動する機会が多くありました。岡山大学では、共に子ども達の成長に感動できる、教師の育成に励んでまいります。



大久保 祐作

OHKUBO Yusaku
■ 所属
学術研究院
環境生命
自然科学学域
講師

研究分野 応用統計学／生態学

生態学を中心に、生物データを統計的に分析したり新しい分析手法を考案したりしています。



橋田 竜兵

HASHIDA Ryohel
■ 所属
学術研究院
環境生命
自然科学学域
講師

研究分野 建築計画／住宅・住宅地計画

建築計画を専門とし、集合住宅、住宅地、団地などの居住環境の計画や歴史について、フィールドワークにもとづく調査研究を行っています。



CEREMONY

令和5年度 岡山大学入学式、 大学院入学式を挙行

4月2日、令和5年度岡山大学入学式及び大学院入学式を岡山県総合グラウンド体育館(ジップアリーナ岡山)で行い、学部生・大学院生ら計3,514人の入学を祝福しました。

式では那須保友学長が「主体性をもって、将来への大きな夢と希望に向かってワクワク・ドキドキした大学生活を送ってください。皆さんが主役です。私たちは、皆さんとともに築いていくこれからのが、これまでの本学の歴史や伝統を超えるものとなり、皆さんにより大きな『誇りと希望』をもたらすことを心から期待しています」と式辞を述べました。入学生を代表し、午前は農学部の海士部あきこさん、午後は大学院医歯薬学総合研究科の山村容加さんが入学生宣誓を行いました。

PICK UP!



令和4年度 「岡山大学学生文化奨励賞・ 学生スポーツ賞」授与式を挙行！

3月23日、令和4年度「岡山大学学生文化奨励賞・学生スポーツ賞」授与式が創立五十周年記念館金光ホールで行われ、個人の部76人・団体の部12団体が受賞しました。

学生文化奨励賞は、正課外文化活動において優秀な成績を収めた、または優秀な活動実績が認められた学生を顕彰する制度。学生スポーツ賞は、国際大会や全国大会等の正課外スポーツ活動において活躍し優秀な成績を収めた、または社会貢献活動を継続的に行ったり、校友会活動に貢献したりした学生を顕彰する制度です。

授与式では舟橋弘晃理事長(教学担当)・総括副学長(当時)が各賞の代表者に表彰状を授与し、「正課外活動も大学における学びの一つであり、これから社会に出ていく卒業生の皆さんには、正課外活動で培った経験を今後の生活でも役立てて、一層ご活躍いただきたい」と祝辞を述べました。

技術職員の組織化による研究力・ イノベーション創出の強化と魅力あるキャリアの構築へ 「岡山大学総合技術部」始動！

NEWLY ORGANIZED

令和5年度から、研究者らとともに課題解決を担うパートナーとして重要な存在であり、高い専門技能と知識を有する技術職員を組織化した全学組織である「岡山大学総合技術部」を始動しました。

技術職員による部課長制といった新しい職階の導入や、マネジメント機能強化と技術継承の双方において新たなキャリアパスを構築することができるダブルトラック制を導入。さらに、研究基盤に関する経営戦略の策定にも参画することができるなど、技術職員のさらなる活躍の場の拡大を行います。

本学では、研究設備・機器と技術職員を「研究基盤」と位置付け、研究基盤のハブとなる本学研究推進機構機器共用推進本部と総合技術部の両輪によ

り、全学的な研究設備・機器共用体制を確立する「コアファシリティ構想」を掲げています。今後、地域中核・特色ある研究大学：岡山大学の一翼を担う総合技術部の活動にご期待ください。



ファジアーノ岡山と 包括連携に関する協定を締結

AGREEMENT

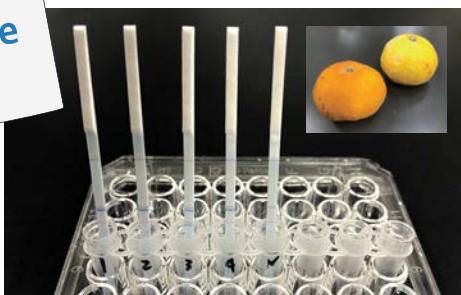
3月7日、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ及び一般社団法人ファジアーノ岡山スポーツクラブと、それぞれの有する資源の相互利用と緊密な人的交流を通して、岡山県及び関連地域の活性化並びに両者の一層の発展に資することを目的として、包括連携協定を締結しました。

同日開催した調印式では、横野博史学長(当時)は「本協定が、岡山地域の活性化と人材育成を通じたSDGs達成への貢献に繋がれば」と話し、ファジアーノ岡山の北川真也社長は「岡山大学のよいところとファジアーノのよいところを掛け合わせることによって、地域課題を解決していく」と述べました。

この協定によって、教育、研究、医療及び事業に係る人的資源並びに人材の相互活用を促進するとともに、施設の相互利用、整備・管理、また、地域のスポーツ振興とスポーツを通じた地域課題の解決、ひいては、県民の健康増進に貢献してまいります。



press release
プレスリリース



カンキツの品種を迅速かつ簡便に識別可能なDNA検査法を確立！

学術研究院環境生命自然科学研究域(農)の門田有希准教授、進藤彰子研究員、農研機構果樹茶業研究部門の島田武彦研究領域長、愛媛県農林水産研究所の岡本充智主任研究員、株式会社ファスマックの高崎一氏、竹内朋幸氏らの研究グループは、カンキツの品種を簡便かつ迅速に識別できる新たなDNA検査法を開発しました。近年わが国で育成された優良な品種が海外へ流出し、無断栽培される事態が発生しています。品種の育成者権を保護するとともに我が国の生産者を育成者権侵害物品から守るために、税関等の水際において侵害物品か否かを迅速に判別できる技術の開発が必要です。本研究ではレトロトランスポゾンという転移性DNA配列を高速シーケンサーで解析し、カンキツの品種を正確に識別できるDNAマーカーを開発。さらに簡便かつ迅速にDNA品種識別検査ができる手法を確立しました。本研究で開発した手法は税関での水際検査、侵害物品の検査等に利用されることが期待されます。

本研究成果は4月27日に日本育種学会が発行する英文誌「Breeding Science」オンライン版で早期公開されました。

PICK UP!



「第1回 Frontiers Planet Prize」

馬建峰教授(資源植物研)が地球の持続性に関する研究を奨励する国際的な表彰を受賞

4月27日、資源植物科学研究所の馬建峰教授がスイスのモントルーで開催された「第1回Frontiers Planet Prize」の授与式に参加。地球規模の持続可能性研究の第一人者でもある環境学者ヨハン・ロックストローム(Johan Rockström)審査委員長から、受賞メダルを授与されました。

本賞は、地球の持続性に関する研究を奨励することを目的にFrontiers研究財団によって、2022年に創設されたもので、過去2年間ににおいて世界で発表された関連論文から選ばれる賞です。今回は、世界各国のおよそ240の大学・研究機関から推薦された論文を100人の審査員によって審査し、最終的に20人のNational Championが選出。馬教授は2022年にNature Foodに論文発表した、カドミウムの低集積に関わるコメの遺伝子を突き止めた研究成果が高く評価され、わが国のNational Championに選ばれました。

今回の受賞を受けて馬教授は「今日は思いもよらず第1回Frontiers Planet Prizeを受賞することができ、大変光栄で、嬉しい思います。この研究は10年以上の月日がかかり、最近になってやっとイネのカドミウム低集積メカニズムの謎を解くことができました。多くの共同研究者のご協力に感謝し、この発見が今後カドミウムの少ない安全なイネ品種の育種に役立つことを待ちにしております」とコメントしています。

大学の動き(2023年3月～6月)	
2023 3月	<ul style="list-style-type: none"> 1日 ● 岡山大学半導体研究教育推進ワーキンググループ キックオフミーティングを開催 23日 ● ワクワクする未来に向け、 ダイバーシティ農業ビジョン構築ワークショップを開催 24日 ● 令和4年度岡山大学学位記等授与式を挙行
4月	<ul style="list-style-type: none"> 1日 ● 2研究科を再編・統合し、 大学院環境生命自然科学研究科を設置 11～14日 ● 令和5年度岡山大学教育学部附属学校園の入学式を挙行 21日 ● 文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択
5月	<ul style="list-style-type: none"> 9日 ● 令和5年度OUフェローシップ認定証授与式を挙行 ～若き研究者を全学体制で支援～ 18日 ● ユネスコが岡山大学ユネスコチャء「持続可能な開発のための研究と教育」の設置認可を更新 29日 ● 上海大学と協力協定を締結
6月	<ul style="list-style-type: none"> 6日 ● 岡山大学・米国務省 「重要言語奨学金(CLS)プログラム」開講式を挙行 23日 ● 学都基金理事会、感謝の集いを開催

ぜひフォローしてください♪



Twitter



Instagram



Facebook

学生の活躍発信中!
岡山大学公式SNS

G7倉敷労働雇用大臣会合応援事業

「私たちで創り上げる理想の働きVA(場)」
～デジタル×レジリエンス×人財ウェルビーイング～を開催

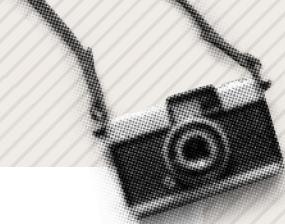
EVENTS

5月14日、共育共創コモンズ(OUX)で「G7倉敷労働雇用大臣会合応援事業『私たちで創り上げる理想の働きVA(場)』～デジタル×レジリエンス×人財ウェルビーイング～」を開催しました。本イベントは倉敷市で4月22日、23日に開催されたG7倉敷労働雇用大臣会合の応援・フォローアップを目的として実施し、会場とオンラインを合わせて約100人が参加しました。

厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室の藤川葵室長補佐が「誰もが輝き、働きやすい医療現場を目指して～医師の働き方改革の目指す先から」と題して基調講演を行い、吉備中央町デジタル田園都市推進協議会アーキテクト(医療・介護・統括アーキテクト補佐)を務める岡山大学病院産科・婦人科の牧尉太講師と、茅野市デジタル田園健康特区アーキテクトを務める諒訪中央病院の須田万勢医師が働き方改革の実践例を紹介。

続いて「自分らしいキャリアを築く：選択肢が広がる理想的なVAとは？」と題してパネルディスカッションが行われました。最後に「私たちで創り上げる理想的な働きVA(場)宣言」が発表され、全員の拍手によって賛同されました。





1枚の写真から紐解く、岡大の歴史。

誰かにそっと教えてくなる…そんなエピソードとともに紹介します。

岡大 OU Pictorial History

モノクローム #06



附属図書館 1950(昭和25)年

今では岡山大学のシンボルとしてそびえる中央図書館。開学時にはその建物が無かったことをご存じですか？

本学の前身の一つである第六高等学校の図書室を母体として発足した附属図書館は、津島キャンパス中央付近に図書館として適当な建物が無かったため、北東隅にあった厩舎を改築した建物とその隣に新築した書庫で業務を開始しました。当時は各学部にも図書室が点在していたため、本館の蔵書数はわずか1,000余冊に過ぎなかったと記録されています。その後、総合大学として相応しい図書館設置の要望があり、1959(昭和34)年に現在の場所に新築。分散していた書籍は集約され蔵書数は約22万冊となり、名実ともに中央図書館として役割を果たすこととなりました。(参考:岡山大学二十年史)



岡山大学広報 いちょう並木

より良い広報誌を作成するために、皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

発 行：岡山大学 総務・企画部 広報課

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www.adm@adm.okayama-u.ac.jp

<https://www.okayama-u.ac.jp>

岡山大学

検索



読者アンケート
実施中! ▶▶

抽選で5名様に
岡山大学グッズ3点
プレゼント!

